



花城 清文 議員

新川森に県立公園を

答 規模が小さく困難では

問 新川森は那覇市も一望できる景観の良いところである。その森を県立公園として整備したら那覇市民や南風原町民をはじめ多くの方が憩いの場として利用する。県に要請してはどうか。

副町長 県立公園としては規模が小さいので困難と考える。

保育園の整備と認定こども園を問う

問 28年度開設の保育園はどうなっているか。待機児童数と今後の整備計画を明らかにしてほしい。認定こども園の開設で待機児童解消になるのか。

副町長 保育園の増築等で95名増で入所措置した。29年度は380名の増を予定し整備計画する。認定子ども園は考えていない。

問 待機児童167名、保育園の整備計画が380名である。定員割れしないか。

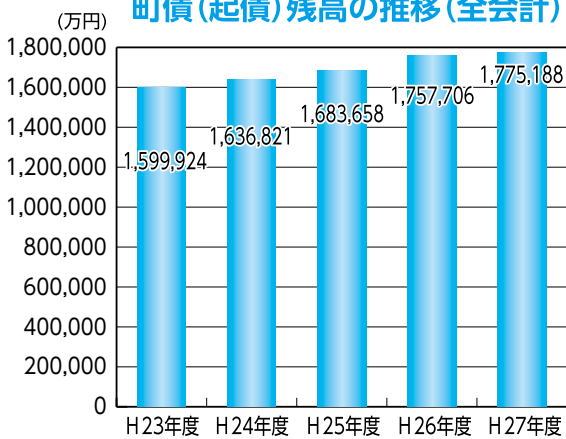
民生部長 人口の伸び率も踏まえて計画している。

財政基盤強化策を問う

問 財政健全化計画は平成20年以降策定していない、必要でないか。平成29年から32年度までの事業実施計画がある。その計画による事業実施で財政破綻しないか。また、町の借金である町債、国保の累積赤字はいくらか。

副町長 新たに財政計画を策定する。財政が破綻しないように努める。町債は国保も含め178億円余りである。

町債(起債)残高の推移(全会計)



嘱託員、臨時職員等非正規職員を問う

問 「嫌われる勇氣」という本がある。私も部長、課長執行部の皆さんに嫌われるが勇氣を持って質問する。平成29年度は非正規職員32名が減員となった。国保の医療事務は国保の補助がつくが減、農業委員会も新しく推進員制度ができたが減、その他の課も減員となっている。その減員で国保への申請事務等の遅れは出てこないか。また、町民への影響はないか。これらの減員で正規職員への負担増になると思うが時間外勤務は増えないか。

民生部長 臨時・嘱託職員の減は、事業の見直しや他市町村との人数の比較で決定した。国保との関連事務に対する影響はない。時間外勤務の増はないと考える。